

技術により実現を目指す 将来の社会イメージについて

国土交通省
令和3年9月22日

- ・5年間の計画の策定に当たっては、長期的な視点で実現を目指す社会像・将来像を目標として想定することが必要。
- ・さらに、これらの社会像・将来像について異分野を含めた産学官の関係者間で共有することにより、国土交通分野の技術開発・イノベーションを強力に推進することが可能。
- ・このため、技術により目指すべき姿・実現すべき姿をわかりやすく紹介・共有する「将来の社会イメージ」をイラスト形式で作成し、技術基本計画の中に位置付け。

■想定する将来

- ・ 2040～2050 年頃(20～30年先)

■作成する将来の社会イメージの内容

- ・ 将来の日本社会を念頭に、国土交通分野の技術開発等を通じて実現を目指す社会像を、国民目線・利用者目線でどのような生活が想定されるか・実現すべきかをイラストで作成
- ・ イラストは国民の生活・活動の「分野」単位ごとに1枚ずつ作成
- ・ 想定する分野(案)
 - ① 国土、防災・減災
 - ② 交通インフラ、人流・物流
 - ③ 暮らし、まちづくり
 - ④ 海洋
 - ⑤ 建設現場
 - ⑥ サイバー空間

■進め方

- ・ イラスト内で記載する将来のサービス内容に関する具体的なアイデアについて、団体や企業等へヒアリング等を通じて提案をいただくとともに、技術部会において委員の皆様にも提案をいただきたい。
- ・ 将来を担う世代である大学の学生にも提案をいただくことを検討。
※学生への意見聴取についてご協力いただける委員が居られたら事務局へご連絡をお願いします。

1-3-2. 技術により実現を目指す将来の社会イメージ例

※この図は既存イラストを活用した参考イメージであり、実際に作成する資料とは異なります
※「建設現場」分野の参考イメージであり、実際には分野ごとに1枚ずつ作成します

